学校番号	３１８

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	（学）日本史入門	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	「新詳日本史」（浜島書店） 「ゼミナール日本史」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

政治・外交を軸に歴史の流れを理解し、経済・社会・文化などの各テーマの学習をすすめてください。また、重要な人物や事象などの語句は、何度も反復して学習して確実に身につけてください。

2　学習の到達目標

①日本史に関する基本的な事柄を理解し、その知識を身につける。
②広い視野に立って多面的に考察しながら日本の歴史の流れをとらえ、現代日本社会の姿を理解し表現できる。
③日本史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・日本史に関する基本的な事柄を理解し、その知識を身につけているか。	・広い視野に立って多面的に考察しながら日本の歴史の流れをとらえ、現代日本社会の姿を理解しようとしているか。	・日本の歴史について追究する態度を示しているか。 ・積極的に資料や図を見て多くの知識を深めようとしているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	日本文化のあけぼの／古墳とヤマト政権／律令国家の形成／貴族政治の展開	１．文化の始まり ２．農耕社会の成立 ３．古墳文化の展開 ４．飛鳥の朝廷 ５．律令国家への道 ６．平城京の時代 ７．律令国家の文化 ８．律令国家の変容 ９．摂関政治 １０．国風文化 １１．地方政治の展開と武士	a:旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。／国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解している。貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解している。 b:自然環境と人間の生活との関わり、中国大陸や朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し表現している。黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し時代を通観する問いを表現している。／中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して主題を設定し、小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠に示して表現している。地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠に示して表現している。 c:時代を通観する問いを表現する学習については、知識・技能や思考・判断・表現力の学習や原始社会の特色についての考察などを踏まえ、例えば、身近な地域や周辺の地域の縄文や弥生などの時代の遺構や遺物から分かることなどを確認し、生徒がこれまでの学習を通じて生じた様々な疑問を交えて相互に表現する。／原始社会の特色や古代の国家や社会との関わりの理解や時代を通観する問い、古代を展望する仮説を	小テスト 授業プリント 演習ノート 定期考査	授業プリント 演習ノート 定期考査	レポート 演習ノート

			踏まえ、資料を扱う技能を活用し、古代の国家や社会の展開について、事象の意味や意義，関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的 ・ 多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、古代がどのような時代であったかを理解するとともに、思考力・判断力・表現力等の育成を図る。			

2学期	院政と武士の躍進／武家政権の成立／武家社会の成長	１２．院政の始まり １３．院政と平氏政権 １４．鎌倉幕府の成立 １５．武士の社会 １６．モンゴル襲来と幕府の衰退 １７．鎌倉文化 １８．室町幕府の成立 １９．幕府の衰退と庶民の台頭 ２０．室町文化 ２１．戦国大名の登場	a:貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解している。／武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などをもとに、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。 b:権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的 ・ 多角的に考察し表現している。時代の転換に着目して、中世の特色について多面的・多角的に考察し時代を通観する問いを表現している。／公武関係の変化、宋・元（モンゴル帝国）などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義，関係性などを多面的 ・ 多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などの根拠を示して表現している。社会や経済の変化とその影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の変化と文化との関係などに着目して主題を設定し、中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などの根拠を示して表現している。 c:中世の特色についての考察などを踏まえ、例えば、武士の政治への関与が社会にもたらした変化や併存する政治勢力がそれぞれの勢力を維持していた状況など、生徒がこれまでの学習を通じて生じた様々な疑問を相互に表現し、それらの疑問を基に教師が問いかけをおこなうなどして、中世の特色について課題意識をもって考察するように指導を工夫する。	小テスト 授業プリント 演習ノート 定期考査	授業プリント 演習ノート 定期考査	レポート 演習ノート

３学期	近世の幕開け／幕藩体制の成立と展開／幕藩体制の動揺	２２．織豊政権 ２３．桃山文化 ２４．幕藩体制の成立 ２５．幕藩社会の構造 ２６．幕政の安定 ２７．経済の発展 ２８．元禄文化 ２９．幕政の改革 ３０．宝暦・天明期の文化 ３１．幕府の衰退と近代への道 ３２．化政文化	a:織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に中世から近世への時代の転換を理解している。／法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解している。産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解している。 b:村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して中世から近世の国家 ・ 社会の変容を多面的 ・ 多角的に考察し、表現している。時代の転換に着目して近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。／織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通 ・ 流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的 ・ 多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などの根拠を示して表現している。 c:近世の特色についての考察などを踏まえ、例えば、織豊政権が戦国時代を終わらせることができた理由や海外から伝わった新たな文化が社会の変化に与えた影響など、生徒がこれまでの学習を通じて生じた様々な疑問を相互に表現し、それらの疑問を基に教師が問いかけを行うなどして、近世の特色について課題意識をもてる。それらを踏まえて、生徒が例えば、「なぜ長期間にわたって大きな戦乱が起こらない時代を形成できたのか」など、近世の特色を探究するための筋道や学習の方向性を導く問いを表現できるよう学習を深めている。／学習にあたっては、近世の国家・社会の変容について考察するための主題を設定する。その主題を学習上の課題とするために、例えば「幕藩体制が変容し、維持できなくなったのはなぜだろうか」、「近代化の萌芽はいつごろからみられるのだろうか」など、この項目全体に関わる問いを設定して、生徒に提示し、小項目のねらいに則した学習を展開できるようにする。	小テスト 授業プリント 演習ノート 定期考査	授業プリント 演習ノート 定期考査	レポート 演習ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度